

「一〇〇〇本」は、「BCCKS」の出版フローを利用した、1000 頁の紙と電子の文庫シリーズです。

紙の本は1024 ページ文庫版並製1色刷りで、取次を通さず、書店、BCCKS、Amazonなどで販売します（都内30店舗からスタート）。電子書籍はBCCKSほか、koboイーブックストア/Reader™Store/Amazon/BookLive!/bitway/BookPlace/紀伊国屋書店BookWebPlus/YAHOO!JAPAN ブックストア/ソフトバンクブックストア、など、複数の電子書籍ストアにて販売します。

販売価格は、紙の本：3200 円（税抜）、電子書籍：1000 円（税抜）となります。

「一〇〇〇本」は、100 頁の10 倍の本ではありません。暴力的とも言えるそのボリュームは、編集、収集、構成、の難易度と可能性を大きく広げます。新しい、売れそう、なだけでは、分厚く無駄な紙の束にしかありませんし、そもそも一人で1000 頁を埋めるのは容易ではありません。1000 頁に綴じるべき質と時間を、「全集」とも「レゾネ」とも異なる編集性と収集性で一冊に綴じる。そんな書籍をお届けします。

一〇〇〇BUNKO 発行人 松本弦人

【仕様】

◎ POD (オンデマンド) 本

「一〇〇〇本」は、一部から印刷・製本が可能なPOD (オンデマンド印刷) で造られます。「紙のBCCKS」ではモリサワのリサプレスというデジタル印刷機を採用しています。デジタル印刷は従来のオフセット印刷に取って代わる技術として注目されていますが、まだまだ発展途上の技術です。現状では、一般の書籍の印刷・製本に比べると見劣りがしますし、一度にまとめて製造しないため、色味や製本具合などにバラツキが出る場合もあります。

無論、造本仕様、品質管理には万全を期しています。どうぞ「一〇〇〇本」サンプルを手にとってご覧ください。オンデマンドとは思えない一般書籍に引けを取らないクオリティであると自負しています。

◎仕様・価格

判形 148×105mm

頁数 1024頁

用紙 本文：OKサワークリーム62kg 表紙/カバー：FB質紙180kg

印刷 デジタル印刷機RISAPRESS一色刷り

製本 PUR綴じ



第一弾 町口覚「一〇〇〇」
発売中！
写真集バカの「写真集の写真集」

第二弾 TDC「一〇〇〇」
七月発売予定 予約受け付け中！
過去22年の受賞作品全部掲載

第三弾 宇川直一「一〇〇〇」
八月発売予定 予約受け付け中！
偽サイン一〇〇〇枚！

第四弾 鶴本正三「一〇〇〇」
九月発売予定 予約受け付け中！
幻の展覧会と伝説のグラフィック

第五弾 川勝正幸「一〇〇〇」
十月発売予定 予約受け付け中！
川勝正幸の言葉一〇〇〇

お問い合わせ 一〇〇〇BUNKO 廣岡行き
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 3-20-13 3F
TEL:03-6438-1017 FAX:03-6438-1018
協賛：不二印刷株式会社
BCCKSは、だれでも紙と電子の本が「読めて」「作れて」「売れる」ウェブサービスです。bccks.jp

http://bccks.jp/store/senbon
mail 1000@sarubrunei.com

第一弾！いま写真家に最も信頼されるデザイナー町口覚写真集バカの「写真集の写真集」

「一〇〇〇」シリーズ第一弾！
5月25日発行！



名作写真集が奏でる、愛と歴史



町口覚（まちぐち・さとし）
1971年東京都生まれ。デザイン事務所「マッチアンドカンパニー」主宰。気鋭の写真家たちとの交流が深く、これまでに数多くの写真集をディレクションしている。また、映画・演劇のグラフィックデザイン、書籍の装丁などを幅広く手掛けている。常に表現者たちと徹底的に向き合い、独自の姿勢でものづくりに取り組んでいる。2005年に写真集「レール」を立ち上げ、発行・発売元となり、日本の写真集を全世界へと所属させるため、写真集販売ウェブサイトを「bookshop_M」を運営。2008年より世界最大級の写真の祭典「PARIS PHOTO」にも出展している。

《LIST OF PHOTOBOOKS》
「雪国」 濱谷浩 / 「LIFE IS GOOD & GOOD FOR YOU IN NEW YORK: TRANCE WITNESS REVELS」 William Klein / 「ある日ある所」 石元泰博 / 「THE AMERICANS」 Robert Frank / 「NOTHING PERSONAL」 Richard Avedon / 「地図」 川田喜久治 / 「日本」 東松照明 / 「にっぽん劇場写真帖」 森山大道、寺山修司 / 「フロウオーク(1)」 多木浩二、高梨豊、中平卓馬、岡田隆彦 / 「鎌鼬」 細江英公 / 「来たるべき言葉のために」 中平卓馬 / 「SELF PORTRAIT」 Lee Friedlander / 「センチメンタルな旅」 荒木経惟 / 「DIANE ARBUS」 Diane Arbus / 「流れの歌」 鈴木清 / 「都市へ」 高梨豊 / 「WILLIAM EGGLESTON'S GUIDE」 William Eggleston / 「SELF AND OTHERS」 牛腸茂雄 / 「PUBLIC RELATIONS」 Garry Winogrand / 「河一景影」 森永純 / 「FLOWERS」 Irving Penn / 「TAMURA PHOTOGRAPHS」 田村彰英 / 「WILD FLOWERS」 Joel Meyerowitz / 「CAMERAWORKS」 David Hockney / 「SUBWAY」 Bruce Davidson / 「PATTI SMITH」 Robert Mapplethorpe / 「SANTA FE」 篠山紀信 / 「WOLFGANG TILLMANS」 Wolfgang Tillmans / 「EMPTY WHITE ROOM」 長島有里枝 / 「40+1 PHOTOGRAPHERS PIN-UP」 / 「BABYLAND」 ホンマタカシ / 「ROAD MOVIE」 高橋恭司 / 「生きている」 佐内正史 / 「CASE HISTORY」 Boris Mikhailov / 「目のまえのつづき」 大橋仁 / 「NACKIG AUF DEM FUßBALLPLATZ」 Juergen Teller / 「ENCOUNTER」 大森克己 / 「すべては初めて起こる」 大森克己